

るり光

No.148 2019.12

発行 真言宗豊山派
北田山寶泉寺
所沢市北岩岡130
編集 色摩真了
ホームページアドレス
takaranoizumi.com

社会が変わる。お寺が変わる。

後編

「お寺は入りにくい」、「お坊さんとは話しにくい」。大半の方がもっているお寺や僧侶への印象です。その「お寺離れ」にストップをかけるべく、この10年で仏教界は少しずつ変わってきています。今回は具体的にその変化をご紹介します。

仏教の楽しさ、面白さを伝える活動としては2017年まで放送されていた「ぶっちゃけ寺」というテレビ番組が記憶に新しいところ。お坊さんが仏教にまつわるあれこれを楽しく解説してくれました。また、最近各地で**仏教フェス**が開かれたり、**YouTube**などでは、お坊さんが歌ったり漫才したりと様々な方法でその魅力をアピールしている動画を数多く閲覧することができるようになりました。

私個人としても、年に6,7回、仲間とともに、都内のお寺で法話会を行ったり、スカイツリー近くの「ブルーオーシャンカフェ」というカフェでおいしいごはんとお酒とともに、**声明・ご詠歌とお話しのライブ**な

どを開催したりしています（興味のある方はお尋ねください）。

一方、**仏教は今を生きる私たちの「苦しみ」に寄り添う教え**ですので、具体的な悩み苦しみに真摯に向き合う僧侶たちの活躍も目立ってきました。



ブルーオーシャンカフェでのひとコマ

自死・自殺に向き合う僧侶の会HPトップ画面



仏教界に広くまたがる取り組みとしては、まだ発展途上という感を拭えないものの「臨床宗教師」、**「スピリチュアルケア師」**といった資格が設けられ、医療、福祉分野との連携、被災地支援などが進んでいます。2016年の秋、こ

こ寶泉寺に講師としてお招きした僧侶であり看護師でもある玉置妙憂さんもこの分野で活躍され、最近ではテレビにも出演されています。

また、深刻な社会問題の一つである**自死**に焦点を当てた活動として「**自死・自殺に向き合う僧侶の会**」という団体では、宗派を超えた40名以上の僧侶が、自死遺族との分かち合いの集いや、自死者追悼法要を開催し、手紙での悩み相談も受け付けています（この活動にはわたし住職も10年ほど前から携わっています）。

他にも、月2回の炊き出しなど路上生活者の方々への支援を行っている「**ひとさじの会**」。お寺に寄せられたお供物を経済的な問題を抱えている家庭に再分配するシステム「**おてらおやつクラブ**」。インターネット上で僧侶が多種多様な悩みに答えるサイト「**hasunoha**」など現代社会に則した形での「**苦**」に対する取り組みがたくさん生まれています。

そうそう、全てがここ10年の動きというわけではなく、例えば長岡西病院の「**ビハーラ病棟**」は、僧侶が常駐する日本で初めての緩和ケア病棟として平成4年にスタートしていますし、「**全国青少年教化協議会**」という団体は、不登校やいじめ、少年犯罪へのケアをはじめとした「**子ども支援ネットワーク**」として50年以上に渡り存在感を示しています。

もちろん、**個々のお寺**での悩み相談、写経会、ヨガ教室に子ども会、各種勉強会などの催しも着実に増加していることはいうまでもありません。

「**お寺って入りやすい**」、「**お坊さんって話しやすい**」となるまでにはまだ時間がかかることではと思いますが、寶泉寺もそのようなお寺を目指して少しずつ歩んでいきたいと考えています。皆さんもどうぞお気軽にお声がけください。（真了）



団体参拝無事終了！

去る10月23日～25日、総勢29名の元気なメンバーで総本山長谷寺と曹洞宗大本山永平寺へお参りをしてきました。おいしいごはんや舌鼓をうち、たくさんのお土産もゲットして皆さん大満足の2泊3日でした！！



長谷寺で記念撮影

工事が始まります。

お寺の前の市道に歩道が新設されるため、道路に面した寶泉寺の敷地が約2.7mの幅で縮小します。今後、塀の外側にある駐車場が使用できなくなることから、塀を道路側まで移動させ、塀の内側にこれまでと同じ規模の駐車場を確保する予定であります。来年2月か3月ごろから工事が始まりますので、お参りの際はじゅうぶんご注意ください。

老僧のつぶやき ⑩

秋に参加した三富地域農業振興協議会主催の「里山シンポジウム」の大きな眼目はいかに里山、特に三富地区の平地林を存続させるかであり、各地のその取り組みが報告されていました。

小僧（しょうそう）も寶泉寺の「ヤマ」の行く末をずっと思い続けており、雑木林は開創以来300年を経るもので特にここ40年の寶泉寺護持や境内の景観には大きな意味を持っています。近辺のヤマが切り倒されていく様子を見るに付け、その保全はお寺に課せられた責務でもあると思えてなりません。シンポジウムでの話などをヒントに、お檀家の皆様の労力やアイデアなどの助けを頂きながら保全にあたれば、よりよい取り組みになるのではないかと思いますに至りました。

具体的には次回のりり光でお知らせいたしますので、ぜひ皆様のご協力をお願い致します。なお来春、新芽の出る前に何回かの作業を行う予定です。

第34回 元旦 お経の会

令和、最初のお経の会、30分程度のおつとめと新年のあいさつなど、最後に毎年集合写真を撮っています。本尊様のお札やお守りなどを用意して皆様のご参詣をお待ちいたします。

日時：1月1日 午前0時と午前9時の2回

会場：寶泉寺本堂

- ・本堂の正面の階段を上って直接お上がください。
- ・念珠やお袈裟をお持ちの方はご持参ください。

年 回 表

令和二年

一 周 忌	令 和 元 年
三 回 忌	平 成 3 0 年
七 回 忌	平 成 2 6 年
十三回 忌	平 成 2 0 年
十七回 忌	平 成 1 6 年
二十三回 忌	平 成 1 0 年
二十七回 忌	平 成 6 年
三十三回 忌	昭 和 6 3 年



子年、松竹梅に彩られておだやかな表情のネズミ、平穩な年でありますように！

編 集 後 記

- ・長年肩の不調に悩まされていたが、この秋思い切って手術を受けた。石灰沈着と腱板の損傷修復で本復には6ヶ月を要するとのこと、まだ我慢が続くが反面、6ヶ月後を楽しみにしている。子年は小僧の干支、いい年にしたい。
- ・歩道設置によって大きく寶泉寺の姿が変わる。前の道路の交通量が増えるにつれて、道路沿いの駐車場の出入りの危険性を心配していた。新しい駐車場ならばこれが解消、心配の種も解消。
- ・「行政の無謬性」という言葉がある。行政には間違いがないというものだそう。よく解せば練りに練った制度や法律だからこそ間違いは無いし、しないという行政マンや政治家に求められるあるべき姿だったのでしょうか。しかし今、大学受験制度が頓挫、他にも政官界の事件や不祥事。政治や行政のシステムが機能不全状態か・・・。
- ・今号よりカラー誌としました、いかがでしょうか、寶泉寺ご本尊薬師如来のご加護あらんことを切に切にお祈り申し上げます。

Dec. 24. 2019 (琴)